

第19回ふれあいバザー

今年で19回を数えるふれあいバザーが平成22年5月28日太田正氣記念館(体育館)で開催されました。

このバザーを大変楽しみにされていた患者様も多く、本当にたくさんの方がご来場されました。写真ではうまく熱気をお伝えする事が出来ませんが、各ブースの前には多くの人だかりができ、シャッターを切ることができない程でした。参加された患者様の目は生き生きとし、販売スタッフと楽しそうに値段交渉をされていました。コミュニケーションを図りながらお金の管理をするというお買い物は大切な社会復帰への第一歩です。また、車椅子の為、外に出る機会が減ってしまっている患者様にとっても大切な時間です。この企画を支えるスタッフミーティングでは多くのスタッフが綿密に打合せをし、患者様の安全の確保と色々な方とふれ合える場の提供を検討してきました。このふれあいバザーを通じ短い時間ではありますが、患者様の心に何か残ればと思います。



基本理念

『人間愛に満ちた医療と愛情こもる看護・介護』



医療法人社団正仁会

明石土山病院・介護老人保健施設希望
つちやま訪問看護ステーション・精神障害者生活訓練施設みどり寮
精神障害者福祉ホームB型マックナイトホーム

〒674-0074

兵庫県明石市魚住町清水2744-30

TEL:078-942-1021

FAX:078-941-1573

E-mail:info@athp.jp

ホームページもご覧下さい

PCサイト <http://www.athp.jp/>

携帯サイト <http://www.athp.jp/i/>



Midori ~みどり~



謹賀新年



旧年中はお世話になり、誠にありがとうございました。
本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

理事長・院長 太田 正幸

昭和31年(1956年)に開業いたしました、明石土山病院は、おかげをもちまして、本年で55周年を迎えます。これも一重に地域住民の皆様、患者様およびご家族様方、所轄官庁、歴代職員、医師会、精神科病院協会等々のおかげだと存じております。

明石土山病院は医療法人社団 正仁会に改組し、正仁会は介護老人保健施設「希望」、「つちやま訪問介護ステーション」、グループホーム「ノア」、精神障害者生活訓練施設「みどり寮」、福祉ホームB型「マックナイト・ホーム」を併設してまいりました。

老朽化した、建物も順次建て替えてまいりましたが、この記念すべき年に、あらたに、厨房棟の改修、および、新病棟の建築を行います。新病棟は、マックナイト・ホームの横に建築いたしますが、定員60床(男子:30床、女子:30床)で、男女は往来はできないように、くぎられております。一病棟、約555坪の広い面積をもち、将来は4階建にする予定ですが、今年はとりあえず1階部分を建築いたします。工事は4月着工し、10月竣工となります。

患者様方により快適な治療、療養環境をご提供する場となりますので、皆様方のご理解、ご協力のほどをなにとぞ宜しくお願い申し上げます。



統合失調症という病気について

医師 山本 康二

最近になり患者さん自身がお自分の症状や治療がどんなものでありある程度ご理解していただくことが重要であり、医師が患者さんに一方的に指示をするのではなく、患者さん本人に自主的に関わってもらうことが大切ですとお話しさせていただきました。

今回は最終回となりましたが、最後に簡単にまとめさせていただきます。

統合失調症は若くして発症することが多く、自分の人生計画を立て始めたり、目標に向けスタートしたばかりのころに調子を崩されることが多いようです。病院に受診して治療が開始されても、治療はケースバイケースであり、回復するのに年単位の休養が必要となることもあります。

このように何かを中断しなければいけなくなったり、自分の能力の変化や今後の見通しが見えないことに焦ったり、いらいらしたり、時に絶望的な気持ちになってしまう患者さんもいます。

こんな時にこそ忘れないでほしいことがあります。

あなたの苦しみ全部を周りの人たちが理解できないかもしれませんが、たくさんの人たちが自分たちの苦しみとして一緒に向き合っていること。また、そういった患者さんから多くの方が勇気をもらっていること。決して忘れないでください。

- その上で、
1. ご自分の病気についてよく知る
 2. ご自分で治療に参加し決定していく
 3. その時々で状態にあった人生の目標を作る

病気を経験しない人も思い通りの人生を送れる人は少ないはずですが、さまざまな理由から自分を取り巻く環境は変わってくるもので、その時々で自分の状態にあった新たな目標を見つけ、前向きな生活を志すことは病気の回復、自信の回復にも良い影響を与えます。

ではこれで終了させていただきます。

(参照：やさしい統合失調症の自己管理)

<掲載年月日>

- 第1回：平成20年8月12日発行
第2回：平成20年11月20日発行

(3ページに続く)



(2ページから続く)

- 第3回：平成21年1月26日発行
第4回：平成21年5月20日発行
第5回：平成22年1月1日発行
第6回：平成22年5月20日発行

過去の掲載分はホームページでご覧になることができます。
(<http://www.athp.jp/>より心の資料室の季刊誌「みどり」をご覧ください。)



のど自慢大会

平成22年7月7日太田正氣記念館(体育館)で恒例の「のど自慢大会」が行われました。日頃より、のどに自信がある多くの患者様が参加され、大いに盛り上がりました。照れながらも熱唱される姿に多くの声援が飛び交い、また、拍手喝采を浴びるカラオケの達人もおられました。中でも一番盛り上がったのは、先生方がマイクを持って壇上に現れた時です。黄色い声と拍手がより一層大きくなりました。審査をする職員も笑顔が自然とこぼれ、本当に楽しく審査ができたようです。歌う側も応援する側も、体育館の暑さを忘れるくらいに熱中する、素晴らしい大会でした。

レクリエーション活動を通じ、早期退院・社会復帰を目指し、スタッフ一同これからも頑張りたいと思います。



運動会

平成22年11月16日太田正氣記念館(体育館)で運動会が開催されました。開会の宣言で始まった運動会は、10種目もの競技を行い大変な盛り上がりを見せていました。種目の中には、車椅子の方が参加できるゲームも沢山用意されており、会場に来られた患者様、皆様が楽しめる運動会となりました。我々職員にとっては、赤白関係なく、参加された患者様の声援と笑顔が何よりの宝物です。

